平成 23 年 6 月 1 日

教職員各位

学長 糸魚川 直祐
FD 推進委員長 高橋 享子

平成 23 年度 授業公開について

周知のとおり、文科省の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」では、「学士課程教育」の中で**学生が「何ができるようになるか」**に重点を置き、各専攻分野を通じて教員は**学士力**を育成することの重要性が提示され、以後の高等教育改革の焦点は、教育から学習へ、学習成果から学習プロセスへと移行しつつあります。

一方、本学では男女共同参画時代の戦略として、「グローバルな視野を持った指導的女性の育成」と「女性研究者の育成」を推進することが策定されています。

このような学内外の動きを受けて、FD推進委員会では、平成 20 年度より「授業実践事例報告」や「公開授業」などに取り組んできました。昨年度には、「学生にとってわかりやすい授業を行う」ために、エントリー制による「授業公開」を実施し、日々行っている普段の授業を公開していただき、それを参観しあう（ピア・レビュー）ことで、いろいろな授業展開や方法を学ぶことから始めました。

授業展開は、教員それぞれでやり方は多様で、その方法は尊重されるべきですが、学生の学習支援の視点で十分に達成されているかを点検する必要があります。従って、客観的に授業を見てもらう事は、授業改善に対する重要な参考になります。授業中の学生の反応、時間配分、資料や機器の使い方、板書、授業の雰囲気など授業を振り返る良い機会となります。また、逆に、授業参観することは、授業方法の参考に加えて、カリキュラムの構築性や他の科目との関連性などについても参考となり**学士力育成の向上**に活かすことができます。従って、授業を見られることに抵抗感をもたれる場合もあるかと存じますが、学生の学習支援を前提に授業公開に取り組んで頂きたいと思えます。

つきましては、本年度前期の授業公開を別紙「前期『授業公開』の参観ご案内」のとおり実施します。お忙しいことと存じますが、授業公開の趣旨をご理解いただき、多くの教職員のご参加をお願いいたします。